

歴史分野実践問題

- ① (ア) 4 (イ) 3 (ウ) 武家諸法度
 (エ) 3 → 5 → 1 (オ) 4 (カ) 1 (キ) 1

【解説】
 (ア) 墓輪は、古墳の周りに置かれた土製品である。1と2は縄文時代、3は弥生時代である。
 (イ) 平等院鳳凰堂は、平安時代中ごろに建てられた阿弥陀堂である。この時期、淨土信仰が人々の間に広まっていた。1は奈良時代、2は平安時代初期、4は鎌倉時代である。
 (ウ) 武家諸法度は、大名を統制するためのもので、1615年に初めて出された。大名が守るべきまりを定めている。
 (エ) 3の保元の乱(1156年)→5の承久の乱(1221年)→1の応仁の乱(1467年~1477年)の順である。2は672年、4は10世紀半ばのできごとである。

(オ) 4のアヘン戦争は、1840年に始まり、その講和条約として南京条約が結ばれた。1は1789年、2は1517年、3は1776年のできごとである。

(カ) 化政文化は江戸を中心とした町人文化で、皮肉やこっけいによる風刺が喜ばれた。2は平安時代の國風文化、3は室町時代の文化、4は元禄文化の説明である。

(キ) 1は1866年、2は1858年、3は1867年、4は1863年~1864年であるので、2→4→1→3の順である。

② (ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3 (オ) 聖院造 (カ) 2 (キ) 3 (キ) 1

【解説】
 (ア) 奈良時代には、道府使が派遣され、すぐれた制度や文化を取り入れた。2は古墳時代、3は平安時代、4は弥生時代である。

(イ) アは1221年、イは1297年、ウは1232年なので、ア→ウ→イの順である。

(ウ) 銀閣が建てられたのは室町時代である。1は江戸時代、2は奈良時代、3は15~16世紀で室町時代、4は江戸時代のできごとである。

(オ) 聖院造は、禪宗寺院の様式を武家の住居に取り入れたもので、現代の和風建築のもとになった。

(カ) 銀閣は、室町幕府第8代將軍足利義満が建てたものであるから、鎌倉時代から戦国時代が始まるまでの内容を述べる。アは鎌倉時代の後、イは戦国時代、ウは平安時代末期、エは室町時代初期のできごとである。

(キ) 産業革命は、18世紀後半のイギリスで始まった。イギリスは、原料供給地と市場をもち、「世界の工場」とよばれた。

(オ) 2は天保の改革、3は徳川綱吉の政治、4は享保の改革の内容である。

- ③ (ア) 3 (イ) 1 → 4 → 2 → 3 (ウ) 4 (オ) 4
 (カ) 德 大量の軍需物資の調達を日本が引き受けたことにより、好景気をむかえ、経済復興が早まった。(43字)

【解説】
 (ア) 明治時代初期の内容を述べ。1は第二次世界大戦後、2は第二次世界大戦中、4は日露戦争後である。

(イ) 1は1925年、2は1936年、3は1940年、4は1931年なので、1→4→2→3の順である。

(ウ) 当時、日本は朝鮮半島進出をねらうロシアと対立しており、イギリスは中央アジア・インドなどでロシアと対立していた。利害の一致した日本とイギリスは、1902年に日英同盟を結んだ。

(オ) ベルサイユ条約が結ばれたのは1919年である。1は1789年、2は1868年、3は1911年、4は1917年である。

(カ) 朝鮮戦争の影響で、日本は特需景気とよばれる好景気となり、第二次世界大戦後の経済復興が早まった。

(キ) 日本とソ連は、1956年に日ソ共同宣言に調印して、国交を回復した。これにより、日本の国際的加盟が認められ、国際社会に復帰した。

(オ) 2 (イ) 1 (ウ) 2 (オ) 2 (カ) 4
 (キ) 3

(カ) 政府が地主の土地を買い上げ、小作人に安く売りわたす政策。(28字)

【解説】
 (ア) 1は1889年、2は1881年と1882年、3は1874年、4は1877年なので、3番目は2になる。

(イ) 大正時代の内容を述べ。2は第二次世界大戦後の1973年、3と4は明治時代初期である。

(ウ) 治安維持法の制定は1925年で、二・二六事件は1936年である。一方、アは1933年、イは1915年、ウは1910年、エは1931年である。

(オ) アの義和團事件は1900年だからA、イのドイツのボーランド侵攻は1939年だからC、ウのロシア革命は1917年だからBである。

(カ) 大久保利通は、新政府の中心人物であり、岩倉使節団に同行した。他に木戸孝允なども同行した。

(キ) 日清戦争の講和条約である下関条約に対し、ロシア、フランス、ドイツの3国は遼東半島を清に返還するよう日本に要求した。これを三国干渉といふ。

(オ) 農地改革は、小作地の多くを政府が強制的に買い上げ、小作人に安く売りわたす政策であった。これにより、農村の民主化が進んだ。

- ④ (ア) 4 (イ) 1 (ウ) 4 (オ) 4
 (カ) 分国法 (キ) 4 (キ) 3

【解説】

(ア) 飛鳥時代は6世紀末から8世紀初めである。1は紀元前1600年ごろ、2は紀元前200年ごろ、3は13世紀後半のことである。

(イ) 2は江戸時代、3と4は室町時代である。

(ウ) アは1167年、イは10世紀中ごろ、ウは1086年であるから、イ→ウ→アの順である。

(オ) 足利義政が活躍していたのは15世紀後半のことである。1は1492年、2は1861年、3は1688年、4は1877年のできごとである。

(カ) 分国法では、家臣團の統制に関する規定などを書かれていた。

(キ) 1は元禄時代に浮世絵を始めた人物。2は元禄時代に

銅版画を大成した人物。3は化政時代にこっけい本を書いた人物。4の歌川(安藤)廣重は化政時代に「東海道五十三次」などを書いた人物である。

(オ) 1は1858~1859年、2は1825年、3は1854年、4は1837年であるので、2→4→3→1の順である。

- ⑤ (ア) 3 (イ) 2 (ウ) 3 (オ) 兵農分離 (カ) 3
 (キ) 3 → 1 → 5 (キ) 2 (キ) 4

【解説】

(ア) 弥生時代の内容を述べ。1は縄文時代、2は旧石器時代、4は古墳時代である。

(イ) 1は桃山文化、3は元禄文化、4は室町幕府の第3代將軍足利義満の時代の文化である。

(ウ) 豊臣秀吉が行った太閤檢地と刀狩によって、武士と農民の身分の区別が進んだ。このことを兵農分離という。

(オ) 1は16世紀初め、2は14世紀~16世紀初め、3は1851年、4は14世紀末のできごとである。

(カ) 1は1549年で戦国時代、2は1637年で江戸時代、3は1392年で室町時代初め、4は平安時代初期、5は1575年で豊田信長の時代。よって、3→1→5になる。

(キ) 大坂(平八郎)の乱の後、水戸忠邦は天保の改革を行った。1は寛政の改革、3は享保の改革をそれぞれ行い、4は江戸幕府第5代將軍徳川綱吉の後、長崎貿易を制限した。

(オ) 諸藩が年貢米や特産物を販売するために大阪に設置したのは蔵屋敷である。また、日本海沿岸から瀬戸内海を通りて大阪に至る航路は西廻り航路である。

(カ) 1は18世紀末、2は17世紀前半、3は17世紀後半、4は19世紀中ごろなので、2→3→1→4の順である。

- ⑥ (ア) 4 (イ) 4 (ウ) 1 (オ) 2 (カ) 2

- (キ) 解体新書 (キ) 1

【解説】

(ア) 唐招提寺を建てたのは、奈良時代に来日した僧である。このころの文化は、西アジアなどの影響を受けた國際色豊かな文化である。律宗の影響を受けた文化は室町時代の文化である。

(イ) アは701年、イは645年、ウは672年である。よって、イ→ウ→アの順になる。

(ウ) 2は江戸時代、3は鎌倉時代、4は平安時代である。

(オ) 正長の土一揆は1428年におこった。1は14世紀後半、2は13世紀初め、3は20世紀初め、4は17世紀末でのできごとである。

(カ) 2の対馬藩は朝鮮と交易を行っていた。

(キ) 杉田玄白は、オランダ語の人体解剖書を翻訳して、「解体新書」として出版した。

(オ) 2は鎌倉時代、3は明治時代、4は室町時代である。

- ⑦ (ア) 2 (イ) 3 (ウ) 2 (オ) 5 (カ) 蔵屋敷
 (キ) 1 (キ) 1

【解説】

(ア) 銅鐸が使われていたのは弥生時代である。1は縄文時代、3は奈良時代に出された豊田永年私財法の後、4は室町時代である。

(イ) 「源氏物語」が書かれたのは11世紀前半である。1は8世紀、2は5世紀、4は8世紀末である。

(ウ) ヨーロッパからアジアに宣教師や商人が来航したのは、新航路が開拓されたことが背景となっている。

(オ) アは1221年、イは1338年、ウは1086年なので、ウ→ア→イの順である。

(カ) 藩府や諸藩は、米や特産物を販売するために、大阪に蔵屋敷を設置した。このため、大阪は商業がさかんとなり、「天下の台所」とよばれた。

(キ) 菊川篠宣は元禄文化の時代に活躍した人物である。2と4は安土桃山時代、3は室町時代の人である。

(オ) 1は18世紀末、2は17世紀前半、3は17世紀後半、4は19世紀中ごろなので、2→3→1→4の順である。

- ⑧ (ア) 1 (イ) 2 (ウ) 2 (オ) 德政令 (カ) 2 (キ) 4

- (キ) 3 (キ) 4 → 2 → 1

【解説】

(ア) 大仏が造られたのは奈良時代である。2は鎌倉時代、3は江戸時代、4は室町時代である。

(イ) 1は平安時代初期、3は室町時代、4は奈良時代である。

(ウ) 鎌倉源氏は、税負を負担して生活が苦しくなった御家人を救うため、これまでに完られた土地をただ取り返させる法令である徳政令を出した。

(オ) 1と4は化政文化、3は平安時代の文化である。

(カ) 伊能忠敬は、西洋の測量術を学んで、日本全国の沿岸を測量して、日本地図をつくった。また、本居宣長は、「古事記伝」を著して、日本古来の文化や考え方を明らかにしようとする国学を大成した。

(キ) 1は16世紀前半、2は10世紀、3は19世紀後半、4は7世紀である。

(オ) 室町時代から江戸時代後半までの内容を巡んで並べられる。1は江戸時代中ごろ、2は江戸時代後半、3は江戸時代末、4は江戸時代初期、5は江戸時代末なので、4→2→1の順である。

- ⑨ (ア) 3 (イ) 1 → 4 → 2 → 3 (ウ) 4 (オ) 4
 (カ) 德 大量の軍需物資の調達を日本が引き受けたことにより、好景気をむかえ、経済復興が早まった。(43字)

【解説】
 (ア) 明治時代初期の内容を述べ。1は第二次世界大戦後、2は第二次世界大戦中、4は日露戦争後である。

(イ) 1は1925年、2は1936年、3は1940年、4は1931年なので、1→4→2→3の順である。

(ウ) 当時、日本は朝鮮半島進出をねらうロシアと対立しており、イギリスは中央アジア・インドなどでロシアと対立していた。利害の一致した日本とイギリスは、1902年に日英同盟を結んだ。

(オ) ベルサイユ条約が結ばれたのは1919年である。1は1789年、2は1868年、3は1911年、4は1917年である。

(カ) 朝鮮戦争の影響で、日本は特需景気とよばれる好景気となり、第二次世界大戦後の経済復興が早まった。

(キ) 日本とソ連は、1956年に日ソ共同宣言に調印して、国交を回復した。これにより、日本の国際的加盟が認められ、国際社会に復帰した。

(オ) 2 (イ) 1 (ウ) 2 (オ) 2 (カ) 4
 (キ) 3

(カ) 政府が地主の土地を買い上げ、小作人に安く売りわたす政策。(28字)

【解説】
 (ア) 1は1889年、2は1881年と1882年、3は1874年、4は1877年なので、3番目は2になる。

(イ) 大正時代の内容を述べ。2は第二次世界大戦後の1973年、3と4は明治時代初期である。

(ウ) 治安維持法の制定は1925年で、二・二六事件は1936年である。一方、アは1933年、イは1915年、ウは1910年、エは1931年である。

(オ) アの義和團事件は1900年だからA、イのドイツのボーランド侵攻は1939年だからC、ウのロシア革命は1917年だからBである。

(カ) 大久保利通は、新政府の中心人物であり、岩倉使節団に同行した。他に木戸孝允なども同行した。

(キ) 日清戦争の講和条約である下関条約に対し、ロシア、フランス、ドイツの3国は遼東半島を清に返還するよう日本に要求した。これを三国干渉といふ。

(オ) 農地改革は、小作地の多くを政府が強制的に買い上げ、小作人に安く売りわたす政策であった。これにより、農村の民主化が進んだ。

- ⑩ (ア) 4 (イ) 4 (ウ) 2 (オ) 4 (カ) 2
 (キ) 1

- (カ) 德 日本は国際連盟を脱退し、国際的に孤立することとなつた。(27字)

【解説】

(ア) 版奈違は1869年で、西南戦争は1877年である。アは1842年、イは1875年、ウは1858年、エは1871年である。

(イ) 1は1911年、2は1886年、3は1883年、4は1894年なので、3番目は4である。

(ウ) 1は明治時代末、3は大正時代、4は明治時代初期のできごとである。

(オ) 石油危機は1973年で、東西ドイツが統一したのは1990年である。アは1991年、イは1972年、ウは1978年である。

(カ) 田中正造は国会で足尾銅山鉱毒事件を追及するなどして、被災民救濟に努めた。

(キ) 中国では1911年に孫文を指導者として辛亥革命がおこった翌年、清が倒れ中國民国が成立した。

(オ) 満州事変に対して、国際連盟は日本が満州から撤退するよう勧告した。日本は、これを不服として国際連盟を脱退し、国際的に孤立することとなつた。

(カ) 1は1910年で、2は1911年で、3は1912年で、4は1913年である。

(キ) 1は1910年で、2は1911年で、3は1912年で、4は1913年である。

(オ) ソ連はサンフランシスコ平和条約に調印しなかった。

(カ) 1956年に日ソ共同宣言が調印され、日本とソ連の国交が回復されたことで、日本は国際連合に加盟できた。

(キ) 普通選挙法が制定されたと同時に、國体の変革や私有財産制を否認する人々を取りしめるために治安維持法が制定された。

(オ) ソ連はサンフランシスコ平和条約に調印しなかった。

(カ) 1956年に日ソ共同宣言が調印され、日本とソ連の国交が回復されたことで、日本は国際連合に加盟できた。

(キ) 1は1910年で、2は1911年で、3は1912年で、4は1913年である。

(オ) 1は1910年で、2は1911年で、3は1912年で、4は1913年である。

(カ) 1は1910年で、2は1911年で、3は1912年で、4は1913年である。

(キ) 1は1910年で、2は1911年で、3は1912年で、4は1913年である。

(オ) 1は1910年で、2は1911年